科目名	母性看護学演習ＩＢ Maternity Nursing Seminar ＩＢ	担当教員 （研究室番号）	大平 肇子（104） 朝倉　徹夫（非常勤） 佐々木直哉（非常勤） 森實かおり（非常勤）	教員への連絡方法 （メールアドレス）	

履修年次	1年次 前期	科目区分	専門科目	選択区分	コース必修	単位数（時間）	2(30)	授業形態	演習	科目等履修生	否
										遠隔授業	否

科目目的	母性看護の対象を理解するための関連理論、看護実践の支持理論を活用しながら、クリティカルケアの観点から、周産期にある母子とその家族の症状アセスメントや看護介入、緊急事態に対応するための医療・援助方法を探究する。	
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ（DP）	主要なDP	７．看護学の特定分野における卓越した看護実践能力を修得している。
	関連するDP	１．多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。
到達目標	１．各種理論に基づき、正常経過から逸脱した周産期にある母子とその家族の症状アセスメントや看護介入の必要性を判断し援助方法について考察することができる。 ２．周産期にある母子とその家族の危機的状況や病態をアセスメントし、緊急事態に対応するための医療・援助方法について考察することができる。	
成績評価方法（基準）	レポート（50点）、プレゼンテーション（40点）、ディスカッションへの参加状況（10点）	
教科書	必要時、紹介します。	
参考書等	必要時、紹介します。	
受講者へのメッセージ	主体的・積極的な取り組みを期待します。	
備考		

回	学習項目	学習内容	主担当教員	授業方法
１回	オリエンテーション 学習内容・方法、到達目標の理解	科目目的、到達目標、学習内容・方法を理解する。 ・今後のスケジュール、学習方法について ・課題学習（文献・事例検討）について	大平	対面（講義）
２回	周産期の異常・合併症の診断と治療①	妊娠期の異常・偶発疾患・合併症の診断に必要な検査、各種治療法について学び、妊婦の標準的医療への理解を深める。 ・超音波による画像診断（通常超音波検査、胎児超音波検査） ・胎児心拍数モニタリングの評価法と対応 ・食事療法、運動療法、薬物療法、手術療法など	朝倉	対面（演習）
３回	周産期の異常・合併症の診断と治療②	分娩期の異常・偶発疾患・合併症の診断に必要な検査、治療・処置について学び、産婦の標準的医療への理解を深める。 ・産科手術・産科的医療処置 ・周産期初期診療アルゴリズム（PC^3） ・母体救命システム（J-CIMELS）	朝倉	対面（演習）
４回	クリティカルケアを受ける周産期の母子とその家族への援助方法①	妊娠期の母子の症状アセスメントや看護介入、緊急事態への対応について学び、臨床で体験した妊娠期の異常事例（切迫早産、HDP、多胎など）をとりあげ、妊娠期の母子とその家族への各種理論を活用した援助方法を検討する。	大平	対面（演習）
５回	クリティカルケアを受ける周産期の母子とその家族への援助方法②	分娩期の母子の症状アセスメントや看護介入、緊急事態への対応について学び、臨床で体験したハイリスク・異常分娩例（遷延分娩、胎児機能不全など）をとりあげ、分娩期の母子とその家族への各種理論を活用した援助方法を検討する。	大平	対面（演習）
６回	クリティカルケアを受ける周産期の母子とその家族への援助方法③	分娩期の母子の症状アセスメントや看護介入、緊急事態への対応について学び、臨床で体験した分娩損傷・偶発疾患・合併症例（危機的出血、産科ショックなど）をとりあげ、分娩期の母子とその家族への各種理論を活用した援助方法を検討する。	大平	対面（演習）
７回	クリティカルケアを受ける周産期の母子とその家族への援助方法④	産褥期の母子の症状アセスメントや看護介入について学び、臨床で体験した産褥期の異常・偶発疾患・合併症例（マタニティブルーズ、感染症など）をとりあげ、産褥期の母子とその家族への各種理論を活用した援助方法を検討する。	大平	対面（演習）
８回	新生児の診断と治療①	新生児期の異常・合併症の診断に必要な検査、各種治療法について学び、新生児への標準的医療について理解を深める。 ・新生児の生理学的適応・神経行動学的発達の評価 ・新生児の呼吸循環管理、新生児蘇生法、薬物療法、光線療法	佐々木	対面（演習）
９回	新生児の診断と治療②	ハイリスク新生児の主要な病態と管理、各種治療法について学び、ハイリスク新生児への標準的医療について理解を深める。 ・早産児、低出生体重児の管理 ・主要疾患の病態生理と管理・治療	佐々木	対面（演習）
10回	新生児医療の現状と課題	低出生体重児増加の要因、周産期ネットワークと搬送システム、成育医療・在宅医療など日本における新生児医療の現状と課題について学ぶ。	佐々木	対面（講義）
11回	周産期の母子とその家族へのクリティカルケアの理解①	臨地での演習に向け、周産期の母子とその家族へのクリティカルケアの観点から、MFICUにおける医療・援助方法を探究するうえでの自己の学習課題を明確にする。	大平	対面（演習）

回	学習項目	学習内容	主担当 教　員	授業 方法
12回	周産期の母子とその家族へのクリティカルケアの理解②	【臨地での演習❶】自己の学習課題を踏まえ、施設や医療場面の見学をとおして、MFICUにおける医療の実際を学ぶ。 ・医師のクリニカルラウンド ・カンファレンスへの参加とディスカッションによるフィードバック	朝倉	対面 (演習)
13回	周産期の母子とその家族へのクリティカルケアの理解③	【臨地での演習❷】自己の学習課題を踏まえ、施設や医療場面の見学をとおして、MFICUにおける医療の実際を学ぶ。 ・医師のクリニカルラウンド ・カンファレンスへの参加とディスカッションによるフィードバック	朝倉	対面 (演習)
14回	周産期の母子とその家族へのクリティカルケアの理解④	臨地での演習からの学びを共有し、母性看護専門看護師とのディスカッションをとおして、クリティカルケアの観点から周産期の母子とその家族への理解を深め、援助方法を検討する。	森實	対面 (演習)
15回	まとめ	クリティカルケアの観点から、周産期にある母子とその家族への医療・援助方法における課題についてまとめ焦点化する。	大平	対面 (演習)